教科名	保健体育	科目名	体育	履修学年	中学 (高校)	2年	全組		
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	ステップアップ高校体育 2024 (大修館)						
担当者	山崎淳美 松本萌								
学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。				
各観点の授業内 評価方法等	実技テスト		実技テスト、レポート、振り返りシート		振り返りシート、授業態度				
学期末の 各観点比率(%)	60%		20%		20%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	体力テスト 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、 20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ					20	実技テストなど	
	5	体育祭練習 大縄跳び、台風の日等							
	6	陸上競技 ・走り高跳び(ベリロール・はさみ跳び・背面跳び) 助走、踏み切り、空中姿勢、着地、記録 ・走り幅跳び							
	7	助走、踏み切り、空中姿勢、着地、記録 ・中・長距離走							
	8	実技評価 フォームと記録による評価							
2	9	バレーボール ・パス(オーバーハンド・アンダーハンド) ・レシーブ ・トス ・スパイク					22	実技テストなど	
	10	・サーブ(アンダーハンド・フローター) ・ゲーム形式							
	11	実技評価 アンダーハンドパス、オーバーハンドパス、サーブ、スパイク							
	12	ダンス ・扇の舞(攻めと守り、大波・中波・小波) 実技評価 攻めと守りの演技							
3	1	ダンス ・扇の舞(波の表現、創作振り付けの修得) 実技評価 創作振り付けの演技					10	実技テストなど	
	2	バドミントン ・サーブ ・ストローク(クリア、ドロップ、ヘアピン、ドライブ) ・ゲーム形式							
	3	実技評価 サーブ							

教科名	保健体育	科目名	体育	履修学年	中学 (高校)	2年	全組		
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	ステップアップ高校体育 2024 (大修館)						
担当者	齊藤 周 福嶋 葉子 高木 純 宮本 章吾								
学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。								
評価方法									
評価観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む姿勢						
評価規準	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。						
各観点の授業内評価方法等	実技テスト	実技テスト、レポート、振り返りシート	振り返りシート、授業態度						
学期末の各観点比率(%)	60%	20%	20%						
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	体力テスト 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ					20	実技テストなど	
	5	体育祭練習 リレー、学年種目等							
	6	バレーボール ・パス(オーバーハンド・アンダーハンド) ・レシーブ ・トス ・スパイク							
	7	・ブロック ・サーブ(アンダーハンド・フローター)							
	8	実技評価 アンダーハンドパス、オーバーハンドパス							
2	9	陸上競技 ・走り高跳び(ベリロール・はさみ跳び・背面跳び) 助走、踏み切り、空中姿勢、着地、記録					22	実技テストなど	
	10	・走り幅跳び 助走、踏み切り、空中姿勢、着地、記録							
	11	・障害走(80mハードル) フォーム、記録							
	12	実技評価 フォームと記録による評価							
3	1	サッカー ・パス(インステップ、インサイド、インフロント) ・ドリブル(インサイド、アウトサイド)					10	実技テストなど	
	2	・リフティング ・ヘディング ・トラッピング							
	3	・シュート 実技評価 ボールコントロール及びシュートに関する実技試験							

教科名	保健体育	科目名	保健	履修学年	中学・ 高校	2年	全	組	
単位数	1単位	使用教科書 補助教材等	現代高等保健体育「保体701」 (大修館書店)						
担当者	余語 哲匡 宮本 章吾		図説現代高等保健「保体701」 (大修館書店)						
学習目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。			生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査		定期考査 授業内課題 実技実習			ワークシート提出 グループディスカッション 授業態度			
学期末の 各観点比率(%)	60%		20%			20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	2 単元 安全な社会生活 ③交通における安全 ④応急手当の意義とその基本					9	期末 考査	
	5	⑤日常的な応急手当 ⑥心肺蘇生法 心肺蘇生法実習							
	6	3 単元 生涯を通じる健康 ①ライフステージと健康							
	7	②思春期と健康 1 学期の範囲で試験を行う							
	8								
2	9	③性意識と性行動の選択 ④妊娠・出産と健康					11	期末 考査	
	10	⑤避妊法と人工妊娠中絶 ⑥結婚生活と健康 ⑦中高年期と健康							
	11	⑧働くことと健康 ⑨労働災害と健康							
	12	2 学期の範囲で試験を行う							
3	1	⑩健康的な職業生活 4 単元 健康を支える環境づくり ①大気汚染と健康					7	学年 末考査	
	2	②水質汚濁、土壌汚染と健康 ③環境と健康にかかわる対策 3 学期の範囲で試験を行う							
	3								